

地方独立行政法人福岡市立病院機構  
平成22年度の業務実績に関する評価結果報告書

(抜 粋)

平成23年8月

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会

# 平成22年度の業務実績に関する評価結果報告

## 1 全体評価

### 評価結果及び判断理由

〈評価結果〉								
<p>平成22年度の業務実績に関する評価については、第1から第4の4つの大項目について、評価A(中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる)と判断した。</p> <p>この大項目評価等の結果に加え、地方独立行政法人制度の特長を活かし、病院経営に係る一定の権限及び裁量権を院長に委譲することにより、患者及び市民の医療ニーズ等に迅速かつ柔軟に対応するなど、病院現場の実態に即した効率的・効果的な病院経営が行われたことなどから、平成22年度の業務実績は、「全体として中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」とした。</p>								
〈判断理由〉								
<p>良質な医療の実践として、こども病院・感染症センターにおいては、周産期医療機能を強化したことにより、「地域周産期母子医療センター」として認定を、福岡市民病院については、病病連携・病診連携を積極的に推進した結果、「地域医療支援病院」の指定を、それぞれ平成23年4月に受けており、これまでの取組みが、市立病院として地域医療に貢献していると評価されたものである。</p> <p>また、平成22年度は、地方独立行政法人化の初年度ではあったものの、自律的な経営が行われ、高度医療の提供による診療単価の上昇や手術件数の増加等による増収を図り、徹底した費用削減の効果と合わせ、運営費負担金繰入後の経常黒字を達成した。</p> <p>さらに、地方独立行政法人の機能性を生かして、教育支援制度の導入や必要な人材の確保が、迅速・的確に行われている。</p> <p>一方で、今後とも安定した経営を維持するためには、研修・教育の充実によって、専門集団としての人材育成に取り組むとともに、質の高い医療を安定的かつ継続的に提供できるよう、さらなる経営改善に努める必要がある。</p>								
項目	評価項目数	ウエイトを考慮した項目数	小項目評価					大項目評価
			評価5	評価4	評価3	評価2	評価1	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	13	28		9	19			A 計画どおり進んでいる
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	5	13		8	5			A 計画どおり進んでいる
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	1	2		2				A 計画どおり進んでいる
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	1	2		2				A 計画どおり進んでいる
合計	20	45		21	24			

## 全体評価に当たって考慮した内容

### 〈主な取り組みや特色ある取り組み〉

地域の医療機関との連携強化及び役割分担の下、市立病院としての使命を果たすため、福岡市における医療施策として求められる高度専門医療や救急医療等を提供した。

こども病院・感染症センターについては、小児医療(高度・地域・救急)のさらなる充実を図るとともに、新たに産科を開設し、周産期医療機能を強化したことにより、「地域周産期母子医療センター」として福岡県から認定された。

福岡市民病院については、医療計画における4疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞及び糖尿病)への対応を中心に高度専門医療の充実に取り組むとともに、SCUを開設し、高度救急医療のさらなる向上を図った。このほか、地域医療連携室の強化を図り、病病連携・病診連携を積極的に推進した結果、「地域医療支援病院」に指定された。

東日本大震災にあたって、物資の提供や医療派遣チームの派遣など、迅速な対応を行った。

病院スタッフの確保と教育・研修については、人材確保が困難な中、年度計画に従って、概ね目標が達成されるとともに、当直明け医師の有給職免制度や育児短時間勤務制度などの導入による処遇改善や教育・研修体制の充実など、積極的に取り組まれている。

### 〈特筆すべき取り組み〉

収支改善について、患者数は前年度より減少しているが、**看護体制の充実や手術件数等の増加等により、入院診療単価の上昇など、大幅な増収を達成している。**

さらに、法人本部における経営会議において、月ごとの経営状況を検証するとともに、各病院においても院内幹部による運営委員会等で、**細部にわたって経営管理を徹底したことで、効率的・効果的な経営を行うことにより、両病院及び法人全体としても、運営費負担金繰入後の経常黒字を達成している。**

## 評価にあたっての意見、指摘等

患者サービスの面で、**医療費のクレジットカードによる支払い**は、手数料等のコスト負担を勘案したうえで、是非取り入れていただきたい。また、アンケートの内容及び方法については、両病院の整合性を考慮し、今後見直しを検討していただきたい。

業務運営の改善に関する運営組織において、**看護師等の経営参画**に当たっては、毎月法人本部で行われる経営会議等に看護部長を出席させるなど、実質的な経営参画の手法について検討をお願いしたい。

「収支改善」や「経営基盤の確立」などの経営管理の徹底の面から診療報酬の改定については、引き上げられる場合もあれば、下がる場合もあるので、収支状況を分析するに当たっては、**診療報酬の改定によるものと、法人の経営努力によるもの、それぞれについて把握できるように工夫していただきたい。**また、DPCデータも、病院の機能分析などに有効なので、今後の業務運営で是非考えていただきたい。

最後に「新病院に向けた取り組み」については、福岡市側の依頼により、半年以上の中断を余儀なくされたことから、PFIの対象外となる新病院医療関連運営業務に係る調査・分析など、検証の結果に左右されないものについての取り組みが進められていたが、当初平成22年度中に行う予定であった事業について、実績に結びついていないため、平成22年度の評価は行わなかった。事業中断の影響により、開院時期が遅れることとなるが、**1日でも早い開院に向け、事業の進捗**を図っていただきたい。